

## できるリーダーはこうする。

### 1 What's the today's goal?

話し合いを進めやすい雰囲気を作りましょう。

### 2 Let's try to speak English!

タスクに沿って、それぞれが言えそうなことや言うべきことを英語で口頭で言い合ひましょう。必ず全員から意見を聞きましょう。この時点で肯定も否定も必要ありません。書く必要もない。

※ もし言いたいことはあるのに何も言えない班員がいたら

→ 以前学習した内容から、似た表現や、関連しそうな表現を一緒に考えよう

※ もし何をしたいかわからない班員がいたら → タスクを再確認する

※ もし相手の意見がうまく理解できなかつたら

→ 「～と言うことで合ってる?」と相手の意見を確認する

### 3 Let's review our idea!

それぞれのアイデアが出そろったら、それぞれの共通点や相違点、課題点を確認しましょう。

### 4 Let's make it better!

誤りがあるものも、そうでないものも、まずはそれぞれの表現を前向きに捉えた上で、今日の授業で必要となる表現について、これまでの学習や本時の学習を生かし、より良いものを作ろう。ロイロ上にいろんなデータもあるので、それも活用しよう!ありとあらゆる方法を試そう!

### 5 Let's talk with another group!

他のグループの意見から、新しい視点に気づくかもしれません。

### 6 Let's think about our idea again.

メンバーのみんなが納得した上で、それぞれの表現を作り上げましょう。指示があれば、それぞれの表現をロイロノートなどに提出しましょう。この時点で初めて文字にします。それまでは徹底的に口頭で表現しましょう。

### 7 Let's finish today's discussion!

グループのメンバーにしっかりと感謝しましょう。

## これがリーダーの責任と役割だ。

### 1 タスクを管理する

今日何をするのか。ゴールを明らかにし、道のりを共にする覚悟を示そう。

### 2 時間を管理する

時間という制約を意識する。何でもあり、いつまでもやっていいでは思考は生まれない。適切な制約があってこそ、工夫が生まれる。

### 3 グループの雰囲気をよくする

あいさつ、握手、ハイタッチ、ギャグ、小話・・・グループの緊張を少しでも解き、安心して活動に取り組むことができるようにしよう。

### 4 多様な意見を求める

間違いも時にはアイデアになり、正解は時に視野を狭める。まずは、どんな意見も認め合いながら話を進めましょう。仮に間違いであっても、そのトライを認めよう。もしかしたら、今は間違っているように見えるだけかもしれません。正解を知っている者がえらい・すごいという空気はなくそう。より良いもの多様で異質なものが組み合わせることで生まれます。

### 5 他のグループのアイデアなどを参考にする

4と同様だが、新しい視点を得ることができるのは班の中に限らない。他のグループ、先生、ALT、自分たちの班以外からも積極的に意見をもらおう。

### 6 まとめを行う

互いの努力を認め、今日の成果についてまとめよう。仮に不十分でも構わない、次に繋がる雰囲気を大切に。